

大学院

担当 風みどり

◇ 解答者総数 34名

◇ 全題正解者 23名

誤無ABC平均

⑨ 添川公司 6 3 20 4 0 2 8

⑩ 柳原裕司 0 3 27 2 0 2 8

◇ 院9 入選50回

川崎市 添川公司

「優駿」

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
持駒	王	皇	と	と	と					
なし	王	と	と	歩	歩					
	歩	歩	歩	銀	銀	歩	桂	桂	香	
	歩	歩	香	香	馬	桂	歩	歩	香	
	歩	歩	馬	馬						
	飛	飛								

94 飛、同玉、95 歩、93 玉、

持駒 なし

- 94 歩、同玉、98 飛、96 飛合、同飛、同と、95 飛、同と、同馬、93 玉、92 と、同玉、93 歩①同玉、94 歩、92 玉、82 歩成、同香、同と、同銀、93 香、同銀、同歩成、同玉、⑧ 84 銀、92 玉、83 銀成、同玉、73 歩成、92 玉、83 と、同玉、73 香成、92 玉、93 歩、同玉、57 馬、92 玉、83 成香、同玉、84 馬左、92 玉、93 馬、91 玉、81 と、同玉、72 香成、同玉、73 銀成、同玉、84 馬上、64 玉、82 馬、53 玉、75 馬⑥ 62 玉、84 馬、53 玉、52 と、同玉、63 桂成①同玉、73 馬引② 54 玉、55 金、43 玉、44 歩③同と、同金、同玉、66 馬、53 玉、54 歩④同玉、55 馬上、43 玉、44 歩、52 玉、53 歩、同玉、64 馬上、44 玉、45 銀⑤同玉、55 馬、35 玉、62 馬、34 玉、44 馬引、25 玉、26 馬、24 玉、15 馬、34 玉、33 馬右、25 玉、17 桂、16 玉、34 馬、17 玉、35 馬、18 玉、36 馬、19 玉、28 銀、同金引、同馬、同金、18 金、同金、同馬、同玉、28 金打、19 玉、29 金引迄19 手、① 83 玉は73 馬、93 玉、94 歩、92 玉、91 馬以下、② 94 銀も可。
- ☆「優駿」と題された本局の見所は、何と言っても中盤から収束にかけての馬による華麗な攻めである。2枚馬が伸び伸びと跳ね回り、駆け巡る素晴らしい順を鑑賞してもらいたい。
- 作者―馬の活用にこだわった作。煙詰で馬の王手23回はかなり多いと思います。草間準二―とても難しかった。特に2枚馬による追撃の手順。精巧な手順に唖然。

小林巧―「縦横無尽」―自由

奔放―に2枚の馬が盤面を駆け巡る。湧々しながら駒を動かす……なんて久しぶりに味わった。

白海棋人―2枚馬が盤上を駆け巡る手順はすばらしいです。

山下誠―2頭の馬が歩調を合わせて敵玉を追い詰めていくのは圧巻。

増田和悦―「馬がここに利いていたか!」と思う変化がいくつもありました。

☆ぎりぎりの変化(そして紛れ)が緊張感と美しさを醸しだす。

池田俊哉―その2枚馬も収束で消える素晴らしい煙。

須川卓二―見事な2頭の馬の活躍。最後に消えてしまうのは忍びない。

水野修―馬の大活躍には終始

うならされました。中盤に100時間程要し、馬にかなり愛着がわいてきた終盤、馬が二つとも流れ星の如く消えていく様子には一抹の寂しさも覚えめました。

☆捨てる駒は序盤で活躍させて主観的価値を上げておくのが創作の定跡だ。それにしてもここまで2枚馬に感情移入させるのは長編ならではや添川作ならではか。

神谷薫―桂3枚使用の上には右上部での展開を放棄したかのような収束からの逆算は作者ならではの。

☆序盤には大きな謎解きが配されている。■

☆途中図からの数手が華麗な馬の捌きに辿り着くための関門。まずは63とや63桂成

とせずいきなり73銀成。続いて62とと銀を食べたい所で75馬く84馬の62歩消去。飯尾晃―軽々と作っているように見えるが62歩の消去等アクセントは利かせている。志方賀内―50手目あたりまでは比較的すらすら進みますが、そのあとが難しくやはり一筋縄ではいきません。

途中図52手目

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				と				
		王	歩	と				
			歩	と	歩	桂		
			銀		歩	歩	香	
				桂	金	銀		
				馬		金	香	桂

持駒なし

某氏―添川さん、手馴れの煙

です。某氏―添川氏なら、手すさびといったところか。

☆有名税は仕方ないが、それにしても税率が高すぎはしないか? 個人的には「放れ馬」以上に感動した作品だ。

竹中健―途中の攻防を読むのに疲れました。右上に追いかんでやつと一安心!

添川氏の煙はやつぱり難しいです。

◇院10 入選52回

- 豊中市 柳原裕司
- 73と奇①93玉、94歩、同玉、95歩、同玉、85金、同玉、76金①94玉、96香、95歩合、同香、同玉、86銀、同と、同と、同桂、同金②84玉、74と奇②94玉、95歩、93玉、85桂、同飛、94歩、92玉、

「パープルタウン」

				香	香	香	香	香	香
				香	香	香	香	香	香
				香	香	香	香	香	香
				香	香	香	香	香	香
				香	香	香	香	香	香
				香	香	香	香	香	香
				香	香	香	香	香	香
				香	香	香	香	香	香
				香	香	香	香	香	香
				香	香	香	香	香	香

一
二
三
四
五
六
七
八
九

持駒 なし

- 83 同上、同飛、同と、同玉、
- 84 歩、92 玉、93 歩成、同玉、
- 63 飛、84 玉、85 歩、94 玉、
- 95 金、同玉、93 飛成、94 金合、
- 同龍、同玉、96 飛、83 玉、
- 84 歩、同玉、94 金、73 玉、
- 74 歩、72 玉、83 金、同玉、
- 93 飛成、74 玉、84 龍、65 玉、
- 75 龍、56 玉、66 龍、47 玉、
- 57 龍、38 玉、27 銀、29 玉、
- 59 龍、28 玉、39 龍、27 玉、
- 29 龍、28 飛合、16 角、17 玉、
- 26 角、同飛成、同龍、同玉、

- 27 飛、15 玉、25 と、同金、
- 同飛、14 玉、15 金、13 玉、
- 23 歩成、同金、同飛成、同玉、
- 33 歩成、同歩、同香成、同玉、
- 34 と、22 玉、23 金、31 玉、
- 32 歩、同銀、同金、同玉、
- 33 銀、31 玉、41 歩成、同玉、
- 42 桂成、同銀、同銀成、同玉、
- 43 と、31 玉、32 銀、22 玉、
- 33 と、同玉、43 角成、22 玉、
- 34 桂、12 玉、21 銀生、23 玉、
- 32 銀生、12 玉、13 歩、同玉、
- 14 歩、12 玉、21 銀生、23 玉、
- 22 桂成、同玉、32 馬、11 玉、
- 12 銀成、同玉、13 歩成、同玉、
- 14 金、12 玉、23 金、11 玉、
- 22 金迄145手。

- ① 84 玉は74と寄、93 玉、94 歩、
- 同玉、95 歩、同玉、86 銀、
- 同飛(同とは87桂、同と、
- 96 歩、94 玉、84 金以下)、
- 同と、同と、87 桂、96 玉、
- 95 飛、87 玉、98 金、78 玉、
- 68 金以下。
- ⓐ 84 玉は74と寄、94 玉、95 香、
- 同玉、86 銀、同と、同と、
- 94 玉、85 と、93 玉、83 と上、
- 同飛、同と、同玉、84 飛以下。
- ⓑ 94 玉は95 歩、84 玉、74 と寄、
- 93 玉で得意合流。応手非限定。
- Ⓒ 93 玉は83と寄、同飛、同と、
- 同玉、84 歩、同玉、74 飛、
- 93 玉、85 桂、92 玉、94 飛、
- 81 玉、82 歩、同玉、93 飛成、
- 71 玉、91 龍以下。
- ☆まずは作者の復活を喜ぶ声
- を。

池田俊哉「お久しぶりの作者? 序盤から中盤にかけての回りくどさがたまらない。」

今川健一「作者は前編集長の柳原さん、お元気そう。初形の成駒はと金のみで綺麗です。」

小林徹「易しく解けて楽しめる大学院。この作者の作品は久しぶりです。」

中出慶一「突如いきなり大作で復活?! 陸続として登場されることを期待します。9段目に駒配置がない煙は珍しい?」

☆7月号には柳原作が3作も引用されていた。なので名前はお存知であろうが、新作の発表は実に12年ぶりだ。☆氏は詰バラ中興の祖。しかしその後、詰将棋界から姿を消す。人に歴史あり。再び詰将棋と一緒に遊べるようになったことを喜ぼう。

作者「初形の成駒がと金4枚のみの「稲村ヶ崎」(柳田明詰バラ(6/16))に憧れて、八神純子を聴きなが

ら、煙詰に熱中していた頃の作品。不完全のまま30年放置していましたが、今年の正月を利用して完成させた。私の技量では、龍追いに頼ってマス目に駒を埋めるだけで精一杯のようです。

☆30年前の作品！ 飛車を盤面の区画割りに使用している辺りに昭和の時代を感じられるかもしれない。しかし「古い」といった評は皆無。大好評であった。

加賀孝志―大駒の合も入り玉の迫り方も鮮やか。感動が残る煙詰。

須川卓二―粘る粘る。繰り返し手順なしで145手とは凄いの一言。

松沢成俊―途中は少し既視感あるも驚異のねばりで145手はご立派。

和田登―巧妙に手をつなぐ手順がすばらしい。

神谷薫―大規模趣向や大型台駒群を含まずとも丹念な捌きで140手超えを実現した「彷徨」系列の熟成煙。28飛合、94金合の切替えは軽妙でセンスを感じる。序は多少駒交換が目立ちますが感じは悪くない。命名は作者のカラオケの十八番からでしょうか、懐かしさを覚える選曲ですね。

白海棋人―すらすら解けました。タイトルが気になりましたが80年代名曲中のフリーズ―紫にけむる夜明け―を聴いて納得。

☆「彷徨」は大村光良作（詰パラ1979（6）143手（早詰））

調べてみると馬鋸を含まない140手以上の煙詰の完全作

は稀少で、橋本・添川の看寿賞作ぐらいいいか思いつかない。手数が長ければ良い作品というわけではないが、煙詰の場合それはじっくり熟成された作品だという証だ。

☆前半70手は左辺が舞台。変化も深く、95歩から85金といった小技も効いて考えさせる。82飛をどう獲るかだが、95歩を打ってしまおうと83時から清算したのでは詰まず、繊細な手順を尽くす。飯尾晃―63飛打から右辺に追う展開には感心。

増田和悦―37手目63飛あたりで序をやつと抜けた感じがして、93飛成から詰上りまでは気持ちよく進みました。

☆63飛以降は易しくなるが、それでも94金と手放して、

それを83金と突つ込む辺りは快感だ。

☆後半は70手は龍で舞台を右辺に転換。細やかで軽快な捌き。疾走感を楽しめる。草間準二―龍追いの手順に入るまで変化や紛れがあつて難しかった。その後は割と気楽に手順を楽しめた。

竹中健一―スッキリ解ける煙も良いものですね。

山下誠―93飛成から龍追いが始まった辺りで筋に入った感じになる。難解さはなく、並べて安らぎを感じる一局。☆30年前、煙をたくさん作っているという噂は東京まで届いていました。柳原さん、自作も期待していますよ！

◇総評
草間準二―2局とも私には難しく、私の頭から煙が出そ

うでした。

国兼秀旗―煙ると評価が甘くなってしまうが、こればかりはどうしようもない。

小林巧―すわっ!!ケムリと分かれば解かずにいられまい。

早速、盤と駒を引っ張り出し、ペタペタと楽しい1週

間ありがとうございました。

☆ケムリはやはり人気ですねえ。

池田俊哉―今期でご退任です

か? お疲れ様でした。小

泉さんのおかげで長編解答

復活できました。

☆こちらこそありがとうございました。
いましました。

【全題正解者】

赤井秀雄 飯尾 晃 池田俊哉
今川健一 加賀孝志 神谷 薫
草間準二 国兼秀旗 小林 巧
小林 徹 斎藤博久 須川卓二

占魚亭 竹中健一 永島勝利

野口賢治 白海棋人 福村 努

増田和悦 松沢成俊 八嶋啓孝

吉田清二 和田 登

【当選者】 誌代1カ月分入帖

吉田清二

(当選予備)

草間準二